

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(英語) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松崎勇人、全専任教員(クラス担任)	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、就業に向け心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。				
学習の成果(学習成果)				
①自分の職業生活を設計できる。 ②職業生活に関わる大切なことを認識し実践できる。 ③自己の職業への適性を知り、能力を高めることができる。 ④他者より良くコミュニケーションできる。 ⑤職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路が見出せる。 以上により、就職活動をして進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎)。 夏休み中の就職活動についての報告と今後の計画についてひとり5～10分の個別面談を実施する(60分)。9/25			
第2回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「グループ面接の練習②」(90分)。10/2			
第3回目	時間の管理と手帳活用術。(大室)。 「時間の管理と手帳活用術」の講義への感想をグループディスカッションで話し合い、意見を発表する【課題①】(45分)。10/9			
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。(秋山)。 講義1(6/28)の自分の意見を読み直し、今回の講義の感想を話し合い要点をまとめ提出。【課題②】(45分)。10/16			
第5回目	金銭の管理。(國分)。 講義への感想についてグループディスカッションを行い、意見を発表する(45分)。10/23			
第6回目	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 内定者：一般常識問題を解く(90分)。就職活動中の者：個別面談を実施する(45分)10/30			

第7回目	租税について。(外部講師)。 「租税」の講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する【課題③】(45分)。11/6		
第8回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得①」(90分)。11/13		
第9回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得②」第1回の内容と合わせて「社会人としての心得」と題して感想を書く【課題④】(90分)。11/20		
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。(穂積)。 「健康管理と余暇の過ごし方」の講義の感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出。【課題⑤】(45分)。11/27		
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。 前回の自分の感想を読み直し、今回の講話と合わせた感想を話し合い、発表する(45分)。12/4		
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 「労働者の生活を守る制度…」講義の感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて提出。【課題⑥】(45分)。12/11		
第13回目	自己啓発。(國分)。 「自己啓発」の講義の感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて提出する。【課題⑦】(45分)。1/8		
第14回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「職場での人との付き合い方：多国籍企業の場合」(90分)。1/15		
第15回目	まとめ。(松崎)。 キャリア教育Ⅰ～Ⅳを通して得たものは何かについて話し合い、発表する(45分)。1/22		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。べ切を過ぎたら減点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
『就職活動ガイドブック』(非売品のため購入する必要はない。) 『大学生のためのキャリアガイドブック』。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。各回のカッコの中の時間は、フィールド別の指導時間を意味する。課題の提出期限は課題が出された日から一週間と定める。			